

宮内っ子応援隊便り

# すまいる

令和7年8月20日(水)号



発行:宮内小学校区地域学校協働本部事務局

現在、ボランティアに登録していただいている方は、48名です。

できるときに できる人が できることを！皆で子ども達を見守りましょう。

7月29日(火)10時～ 宮内小学校 多目的教室において、令和7年度 学校運営協議会(熟議)が「どんな宮内っ子に育ててほしいか」をテーマに先生・応援隊・地域の皆さんが6学年のグループに分かれ協議し発表を行いました。



### 【育てほしい子ども像】

- ・生き抜く力を持った子(たくましさ、自分の意見、話し合う力)
- ・人に愛される子(感謝の気持ちを持つ)
- ・地域を愛する子



### 【それぞれの立場でできること】

- (学校) ・自分の意見を言うこと、多角的な視点(自己の客観視、多様な立場を理解しようとする)で考えることを大切に指導
- ・人との適切な関わり、異学年交流の場

- (地域) ・異学年交流の場、家庭外で人と関わる場(家庭支援、何もしない合宿など)
- ・登下校時の挨拶

### ○何もしない合宿や夏祭りを通して、地域とのつながりを大切にすることができる宮内っ子

- (教職員)
- ・あいさつはしてくれる。
- ・慣れてきたら挨拶ができる。
- ・学校で学んだことを地域に活かしてほしい(ステージでの発表や夏祭りの太鼓など)
- (地域の方)
- ・挨拶はするが、話しかけてはくれない...
- ・中学年は話しかけてくれる、1年生はわんぱく
- ・顔なじみになってきた。
- ・何もしない合宿はとても効果的 知り合いが増えて子供も安心
- ・以前と比べて宮内に子供が増えた。長期休暇中に外で遊ぶ機会・場所が減った。
- ・地域行事も年々減ってしまっている。

### ○挨拶ができる子に

- ・返答がない子もいる。知らない人には声かけられても返事をしてはいけないとしつけられているのかな?
- ・おかし。と気軽に声をかけた時に返答がなく、家族に相談したら、子供にあまり声かけないようにと注意された。
- ・挨拶が生まれるには、顔を知っていることが条件。
- ・挨拶を自分からしよう。という課題は何十年と解決されていない。
- ・地域の様子も変わってきている。
- ・相手から挨拶されるのが当たり前ではなく、自分から挨拶ができるようになってほしい。
- ・自分から挨拶ができる子と、自分からは言えない子とわかれている。
- ・地域の方のことをたくさん知る機会を作るのは大切なことなのかな。
- ・挨拶をしたら返してもらえぬ自身をつけさせるために、自分から挨拶をするように心がけたり、褒めたりしていくことで挨拶ができる子を増やして行くといい。
- 掛けない心(命を大切に)
- ・地域に知っている顔がある。地域の方の顔を知る機会を作る。
- ・自分の考えを言葉で表現できない。ジェスチャーで返答をするところからスタートさせている。
- ・発声力・発信力をつけてほしい。
- ・否定に弱い。安全性を感じられないから?注目を浴びたくない子が多いように感じる。
- ・書いていることを代弁して評価する時間を作る。自身を持たせて発表できるように日頃から種をまくようにしている。
- ・コミュニケーションの経験力を高める必要がある。
- ・自己肯定感を育てることが大切。

### 【1年グループ】

### 【2年グループ】

### 【3年グループ】

### 【4年グループ】

### 【5年グループ】

### 【6年グループ】

### 【地域での実態】

- ・あまり地域と児童の関わりが少ない
- 仲のいい友達とだけの関わり
- 元氣
- ・小学校の活動も保育園にとって活気のない
- ・挨拶ができない
- 嫌われているかもという気持ちになる。
- ・行事(夏祭り・餅つき)に参加している子が多い
- ・子どもたちが宮内のことが好き

### 【どんな宮内っ子に育ててほしい】

- あいさつができる子
- 明るく「おはよう！」に対して返事が返ってこない
- ・学校でのきっかけづくり
- 学校内、学級内でのあいさつ運動を取り組み
- 地域との情報共有
- 地域と主体的に関われる子
- 町内会やコミュニティが開催している行事に参加してほしい
- 宮内を好きだといえる子

### 自分から挨拶のできる子へ

地域との交流が少ない・行事も少ない・接点がなくなっている中で、学校では「いかのおすし」の指導もあり、大人も声をかけにくい時代になっている。それでも、先生や知っている人には自分から挨拶のできる子になってほしい。

### 【できること】

地域の方は意識して挨拶をしてくださってはいるが、地域で回覧板を作って回し、宮内小学校の子どもたちへの挨拶を協力してもらおう。学校では、挨拶運動、挨拶強化習慣、よくできた子は表彰等の活動を入れる。シールやスタンプが欲しいためにならないように。子どもたちに地域の方をもっと知ってもらうために、支援や応援して下さる方のポスターを掲示してはどうか。(個人情報にはなるが)

### 自由に育ててほしい

- ・立っていている地域の方には、あいさつをしてきている。
- 交流の場が増えればあいさつできるように?(運動会・お祭りなど)
- ・児童との距離感が難しい
- 保護者が地域に関心を持ってほしい(児童が自由に遊べる環境があってほしい)
- 地域を知る機会を増やしたい
- ・地域の方とのつながりを小学校で作れると
- 地域の行事に参加しやすくなるかも
- ・何もしない合宿(児童に考えさせる、大人は見守る)
- ・大人になったときに善悪の判断がつくように、子どものうちにたくさんチャレンジしてたくさん失敗する。

宮内っ子応援隊便り「すまいる」は、支援の様子や連絡事項を記載し、毎月20日に支援予定表と一緒に「通い封筒」に入れて、宮内市民センターの「宮内っ子応援隊」のボックスに入れますので、ご確認をよろしくお願ひします。